

**工業系女子に聞く！
建設業の魅力**

建設業って、 こんなにステキ



岐南工業高校1年生・土木科
鷺見あかねさん(右)
岐南工業高校3年生・建築科
山田弘美さん(左)

近年、建設業の世界で活躍する女性が増えていることを知っていますか。男性と同じように大きな建設車両を巧みに操ったり、女性ならではの感性で美しい仕上げを施したりと、さまざまな活躍がいたるところで見られるようになりました。岐阜県内には**多くの建設系の学科を持つ学校**があり、女子生徒たちが**未来の活躍**を夢見て、日々勉強に励んでいます。

**日本を支える「大産業」
建設業が担う役割とは**

建設業には道路やトンネル、ダム橋などをつくる「土木」と、マンションやショッピングモールなどを建設する「建築」とがあり、わたしたちの生活の基盤をつくり、メンテナンスも行っています。また、災害時にすぐさま現場に駆けつけ、道路、河川など社会インフラの早期復旧を行うことも地域の建設業が担っています。岐阜県内の豪雪地帯では、除雪も重要な仕事。このように建設業は地域を多角的に支えているのです。

「けんせつ小町」や「ドボジョ」と言われるように、建設業界で働く女性にスポットが当たっています。工事現場で女性の姿を見ることが珍しくなくなりました。重機を操ったり現場監督として指揮をとるなど、仕事は多岐にわたります。近隣住民への配慮や現場の整理整頓など、女性ならではの気配りと感性で活躍の幅を広げています。



「家の手伝いをしながら、もっとこういう機能があつたらいいキッチンなのについて、考えることがよくありました」と幼少期について話す、株式会社市川工務店建築部の奥田麗さん

**憧れの建設業を職業に
責任をもって仕事をする毎日**

株式会社市川工務店建築部の奥田麗さんは入社2年目。建設業で働く父親とその同僚の姿に憧れて、同じ世界に飛びこみました。「入社したての頃は分からないことが多い毎日でしたが、先輩が丁

寧に教えてくれた」と振り返ります。いま、現場では安全書類や写真の管理を任されています。同じく総務部の山本紗佑里さんも「建物ができるいく様子や内部の機能性がとても気になるんです。でも力がないし、現場で働く自信はなかったら総務として就職しました」と建設業への思いを口にします。

二人が働く市川工務店は女性技術者を10年ほど前から積極的に採用。昨年度には「女性技術者の会『けんけんば』」を発足し、現場作業員とのコミュニケーションの取り方や腕力などのハンディキャップなど、女性ならではの悩みを気軽に話し合える場を設けています。会長は入社10年目の小澤身友希さん。「悩みを共有して、みんなで解決できるようにしました。女性技術者が働き方を見直すきっかけにもなっています」と会の効果を話してくれました。建設業界で働く女性を取り巻く環境は、日々改善されています。



左から小澤さん、奥田さん、山本さん。「現場のみなさんは、もっと怖く話したいのかなって思っていましたがあみさん気さくで優しく、いろいろなことを教えてくださいました」

行けばわかるよ
現場の魅力！

ゲンパ見学会

現場のスケールに圧倒されました！



岐南工業高校建設工業科(建築類型・土木類型)2年生のみなさん

溶接など専門技術や資格が必要な仕事を見ることができました。とってまわったばかりの教科書を読んでいるだけでは分からないスケールの大きな現場で、迫力満点でした。杭を打つ作業はすごかった！実際に体験したことで建設業界で働く自分の姿をイメージできました

**女性も男性も
活躍できる仕事です！**

「いろいろな職人と顔を合わせて仕事ができるのが魅力です。複数の現場を受け持ち仕事は多忙を極めますが、改修工事が完了した学校を訪ねると、きれいになった校舎や設備に喜び子どもたちがいて、こちらまでうれしくなります。ひと昔前に比べて、現場での女性受け入れ態勢も整ってきました。女性の監督や技術者が増えると環境はもっと改善されていくと思います。」(岐南南部特別支援学校(仮称)高等部・体育館棟建築工事の監督員/大土さん)

「想像していたよりも女性にとって働きやすく、居やすい環境と雰囲気整っていました。」(山田さん)



岐南南部特別支援学校(仮称)公共建築住宅課
山田真希子さん(右)
大土さおりさん(左)



岐南南部特別支援学校(仮称)高等部・体育館棟建築工事(羽島市)平成28年4月の開校に向けて進む外構工事、外装工事、内装工事、躯体工事などを見学しました

見たことがない仕事を目にして感動！

見学会では普段入れない現場に入って細かい仕事を見ることができました。一つのものいろいろな人の技術で作られていく工程がすごいです。また、普段はあまり見ることができない高所作業車や、本物の建築資材を見ることができて良かったです



大垣工業高校建設工業科(建築類型)2年生のみなさん



堤防護岸工事、MAGロード橋脚工事などを見学し、河川整備に対する重要性を学びました

土木も建築も魅力的です

2年生になると土木/建築のどちらかを専攻するので、今日の現場見学会は大変参考になりました。形に残る、地図に載る建設業の仕事はステキです。また建設業は地域の人の暮らしに大きく影響する大切な仕事なんだと、改めて感じました



岐南工業高校1年生のみなさん



老人福祉施設および病院外来棟等の増築工事を見学し、ボードにネジを差し込む体験をしました

将来を考えるきっかけになりました

建物完成する前の現場を見ることができて楽しかった。現場では木材以外にもいろいろな素材があるということを実感できて良かった。まだ将来のことは決めていないけれど設計の仕事に就きたい。家業を継ぐためにも、これからしっかり知識をつけていきます



関商工高校1・2年生のみなさん

建設系学科がある県内工業高校

- 岐南工業高校建設工業科(建築類型・土木類型)2年生のみなさん
- 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 岐阜市須賀2-7-25
- 岐阜県立岐南工業高等学校 岐阜市本荘3456-19
- 岐阜県立岐阜工業高等学校 羽島郡笠松町常盤町1700
- 岐阜県立大垣工業高等学校 大垣市南若森町301-1
- 岐阜県立可児工業高等学校 可児市中恵2358-1
- 岐阜県立中津川工業高等学校 中津川市千旦林1521-3
- 岐阜県立高山工業高等学校 高山市千島町291
- 関市立関商工高等学校 関市桐ヶ丘1-1

**現場での見学など
即戦力を育てる教育**



岐南工業高校
相富貴貴先生(左)と小川美也乃先生(右)

3学年あわせて40人の女子生徒が学ぶ岐南工業高校。「設計に慣れて」「大工になりたくて」など志望動機はさまざま。座学のほかシンヨベルカーに乗ったり大工道具を使ったりと実技のカリキュラムが組まれています。「自分が工業高校に通っていい経験ができたので、それを若い人たちに伝えたい」と工業高校教員の道を選んだ相富先生。重機操縦や溶接など実習の時間が充実していて、さまざまな実技を通して学習ができるところに魅力を感じたといいます。「工業高校では、各専門的な知識や道具について学習し、コミュニケーション能力などを養います。建設系の仕事は私たちの生活にとっても身近なものですので、学習の中で『そうだったのか』と思えることも多くあります」と小川先生は言います。

岐南工業高校では建設業界で活躍する卒業生を招いて語る会を開催。就職や仕事内容についてなどを話します。CADを使った設計事務所や現場監督として働く卒業生、建設系の大学に進学する生徒などを多数輩出してきました。「高校生でもとれる資格が増えたり、地元企業による現場見学会が増えたりと、工業高校生にとっての環境が非常に整ってきているのを感じます」と声を合わせる二人。夏には学校見学会、秋には一日体験入学などがあります。工業高校や建設業について、もっともっとと地域の人に知ってもらい、学ぶ人や活躍する人が増えるとうれしいと締めくくりました。